

# 51

## ■新緑のブナ林に響き渡るキビタキのさえずり

### 松之山 (東頸・松之山町)

■環境：森林  
 ■対象：一般  
 ■期間：4月下旬～6月下旬

樹齢70年ほどの若いブナの木が平たんな斜面に広がっている。松之山の入り口の小さな集落のはずれに位置し、近年カメラマンやバードウォッチングのほかに観光客も訪れ意外な人気である。隣接して須山の探鳥コースもある。

#### <朝もやの美人林にキビタキのさえずり>

4月下旬のまだ残雪の残るころ、朝の光が差し込む美人林は、もやに包まれ幻想の世界となる。いちやく渡来したのはセンダイムシクイ、さらにキビタキが「チョットコイ、チョットコイ」とさえずっている。

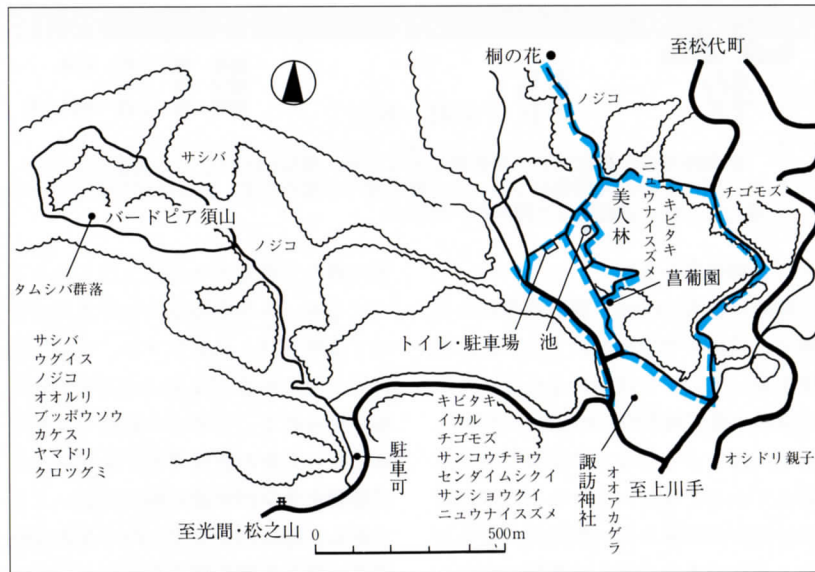
6月初旬に訪れる人は、美人林駐車場よりも松口集落の諏訪神社に車を止

め、神社のオオアカゲラを見上げてから、小道を美人林下方のショウブ園を通り、ブナ林に入るとよい。静かに林の中央の池に向かうと、オシドリが見えることも。

ブナ林を抜けると尾根沿いに遊歩道が続く。イカルやカラ類が頭上を通り、ヤマドリのホロ打ちも聞こえる。見下ろすと、花をつけた桐の木のわきでノ



新緑の美人林



ジゴが複雑な鈴を転がすようなさえずりを響かせている。尾根を登り切ったところでは、オオルリやクロツグミのさえずる姿がみられ、ここで休憩して雲海をみるのもよい。下からはオオヨシキリの声が聞こえてくる。

#### <雑木林、小川、沼地へ小道は続く>

美人林に隣接して「バードピア須山」がある。人里離れたこの場所は野鳥、チョウ、植物も豊富で、時間に余裕のある人は十分楽しめる。

道路わきに駐車して一周すると2時間のコース。ブナ林を背に沼地が続く。近くの杉の木のとっぺんにはサシバが止まりにらみをきかせている。左からブナ林を尾根沿いに登ると、雪消えの

季節を象徴するタムシバの白い花が遊歩道を覆い、近くでニューナイスズメがコゲラと巣穴の取り合いをしている様子が見られるかもしれない。

(村山 健)

#### メモ

**交通** ほぼく線松代駅よりバス「松之山温泉行き」で「松之山」下車、徒歩20分。

☑ 美人林入り口駐車場、諏訪神社駐車場、須山入り口は空き地に駐車可。

**探鳥会** 松之山町野鳥愛護会主催の探鳥会が5月最終日曜日に行われる(変更あり)。

問い合わせ先：村山 健

☎02559-6-2323